

河原学園タウンミーティング(要約)

テーマ：学んだ知識と技術を活かしてできること

平成28年5月12日(木曜日)

【市長】 皆さん、こんにちは。松山市長の野志克仁です。まず松山市のタウンミーティングは大きく2種類あり、地域別タウンミーティングと世代別・職業別タウンミーティングを行っています。今回は世代別タウンミーティング、学生さんとのタウンミーティングということで河原学園さんにお邪魔をしました。このタウンミーティングの開催にあたりましては河原学園の学園長さんをはじめ、皆様方のお力添えをいただきました。本当にありがとうございました。このタウンミーティングは、私が市長に就任をさせていただいてから始めました。松山市は、旧松山市と旧北条市、旧中島町を合わせて41地区に分かれています。どっちが楽かという話をすると皆さんがお越しになるのを市役所で待っているほうが楽です。でも、果たしてそれでいいのでしょうか。各地区には魅力もあり、逆に課題もあると思いますので、我々が41地区に出向く形で皆さんの声を聞かせていただこう、魅力は伸ばし課題は減らすタウンミーティングをやってきました。市長の任期は1期4年、48カ月ですから、41地区を1カ月1回のペースで回っていこうと思っていましたが、おかげさまで好評になり、1期4年の間に2巡りしました。おかげさまで2期目に入らせていただいて、地域別のタウンミーティングは継続し、今度は世代別のタウンミーティングということで、大学生・専門学校の学生さんや子育て中の方の声を聞かせていただいています。これはまだできていませんが、おじいちゃんおばあちゃんたちに集まっていただくシルバー世代のタウンミーティングも考えています。また職業別として、農業分野の方々や商店街の方々のタウンミーティングも重ねています。今日のタウンミーティングは、90分を予定しています。できる限り皆さんのご意見に対してこの場でお答えをして帰るようにしますが、国や県と関係をする案件などはいい加減な返事をして帰るわけにはいきませんし、また財政的によく考えなければならないものは一度持ち帰らせていただいて、必ず1カ月を目処に皆さんにお返ししています。聞きっぱなしにはしない、やりっぱなしにはしないのが松山市版のタウンミーティングの特徴です。今日は若い皆さんからどんな声が聞けるのか大変楽しみにしています。90分のタウンミーティングですけれども、緊張して肩ひじを張っていると疲れてしまいますので、あまり緊張なさらずに、ざっくばらんな感じで今日のタウンミーティングができればと思います。それでは、各専門分野の担当が来ていますので、それぞれ

自己紹介をいたします。

【市民部長】 市民部長の唐崎です。市民部では市民の皆さんに直接関係の深い業務を担当しています。市民部では、このタウンミーティングをしていますタウンミーティング課、市民参画まちづくり課、人権啓発課、市民相談課、市民課、支所の業務を所管しています。どうぞよろしくお願ひします。

【都市・交通計画課長】 都市整備部の都市・交通計画課長の石井です。都市整備部は、道路や港湾などの都市基盤の計画や整備、公共交通や自転車など交通と名のつくものの計画をする部署になっています。よろしくお願ひします。

【地域経済課長】 地域経済課長の宇野です。私の所属している地域経済課は産業経済部にあり、産業経済部は松山市内の産業・経済を活性化することが主な仕事になっています。その中には、第一次産業の活性化があり、また道後温泉やお城などの観光資源を活用して経済を豊かにしていく観光行政、そして中小企業の支援や就労支援、雇用支援で経済を活性化することなど、第一次産業から第三次産業までの活性化を担う仕事をしています。今日はよろしくお願ひします。

【保健福祉部副部長】 保健福祉部副部長の野本です。保健福祉部は国民健康保険、後期高齢者医療などの医療制度、介護保険、また子どもさんから高齢者までの福祉全般、保育園など子育て支援、お年寄りの支援、障がい者、生活福祉、生活に困っている方の支援など、福祉全般を担当しています。よろしくお願ひします。

【保健福祉部保健所次長】 保健福祉部保健所次長の松原です。保健所では、健康づくり、母子保健、そして感染症など予防接種、食品衛生、動物愛護、地域医療に関する医療機関・薬局のことや、健康に関わる仕事をしています。どうぞよろしくお願ひします。

【消防局次長】 消防局次長の中矢です。消防・救急の分野はもちろん、地震や災害への備えなど防災危機管理全般にわたるご質問に対応させていただきますので、どうぞよろしくお願ひします。

【市長】 以上の部長、課長です。お願ひします。

【司会】 それでは、テーマ趣旨について、市長からご説明いたします。

【市長】 今日はどんなテーマにしようか、河原学園さんとお話をさせていただきました。専門学校ならではの特色のあるテーマということで「学んだ知識と技術を活かしてできること」にしました。「どういうことを聞いてみたいですか」と皆さんに事前にアンケートを取らせていただき、総

数で100項目にものぼりました。台本なしのタウンミーティングですから、これ以外のことを聞いていただいてももちろん構わないです。サブテーマには、具体的に松山市とどう関わっていくのかを考える内容として「松山市（地元）で働くということ」「地域とつながり、地域に貢献」「わたしたちの声を市政に反映」とさせていただきました。実は皆さんも松山の宝です。松山市内には専門学校が約20、4年制大学が4つ、短期大学が3つあり、これは松山市以外の愛媛の市町ではないことです。大変ありがたく恵まれています。松山市の人口は51万7千人ほどで、先ほどの学生数は約2万人といわれています。この学生のアイデアを市政に反映していきたいと思っています。この銀天街から少し入ったところに松山アーバンデザインセンターがあります。ここは公・民・学が連携していて、まちづくりに関心のある市民や学生がまちづくりを実践的に学ぶ学習プログラムがあり、アーバンデザインスクールを開講してまちづくりの担い手育成や、まちなかの賑わいづくりに取り組んでいます。そして、新しくこの4月に始まったばかりで5月16日月曜日まで受け付けをしていますが、まちづくり提案制度をスタートしました。この制度は提案するだけではなく、自分たちで考えて実践するまちづくり活動を応援するものです。昔「マネーの虎」という番組がありましたが、それに少し似ています。将来のまちづくりを担う若者の方に自分たちもまちを構成する一員で、まちづくりが他人ごとでないことを実感してもらいたいと考えています。実は、まちづくりに必要な3要素に「若者・よそ者・ばか者」という言い方があります。ばか者というのは本当にばかという意味ではなく、突飛な発想やアイデアを持っているという意味で、よそ者は外からの視点です。まさに皆さんの声を反映していきたいと思っていますので、よろしくお願ひします。河原学園さんにもまちづくりに協力をいただいています。実は今年8月24日に全国消防救助技術大会が松山で行われますが、河原学園さんのデザイン・アート専門学校にご協力いただいて、大会のシンボルマークと15秒間の動画をつくることができました。非常にいいできです。やはり行政だけではやれることに限りがありますので、皆さんと意見交換をして今日90分終わった段階で、それやってみたいね、これ生かしたいね、というタウンミーティングにできればと思います。

【男性】 大原簿記公務員専門学校の学生です。私は現在専門学校に通っていて、通学路の間屋町のラウンドワンの近くに新しくゼビオとケーズデンキができました。私が通学して思ったことは、ヤマダ電機とゼビオの間に信号がないので、交通状態が悪く出入りが難しく事故の原因になるので

はないかと思ったので、信号機や横断歩道を設置する必要があるのではないかと思います。その点について教えていただいてもよろしいでしょうか。

【都市・交通計画課長】 信号の設置は松山市ではなく警察の所管になります。事前にこの意見をいただいていたので、警察には相談をしています。ただ、警察が設置する基準となるのが、町内会や地元の方の要望として、どうしても必要だということを訴えないといけません。学生さんでそこに住んでない方では町内会といってもわからないと思いますので、私どもから町内会さんに、「そういう意見もあるのでどうでしょうか、一緒に警察に要望しませんか、そういう意思がありますか」ということを確認していきたいと思います。もう1つは、信号機を設置するお金が愛媛県警の中で限られているということです。年々新しい道路ができますが、新しい道路ができたときに大きな交差点では必ず信号が要ります。まずそこにつけることを優先しますから、もともとある既存の道路につけることは厳しい状況にあるというのを伺っておりますので、地元の方などの強い意思や要望が非常に大事になることを地元の方に伝えたいと思っています。

【市長】 私から、遠慮なく言ってくださいという補足説明をします。道路でいうと、国道、県道、市が管轄をしている市道があって、私道もあります。皆さんは、どこが県道でどこが市道なんてわからないですよ。です。一番身近な自治体である松山市に遠慮なく相談してください。それから、交通管制といいます。例えばここは40km/hにしましょうねと皆さんをルールで縛るのは警察の仕事になります。信号をつけるということは自由に通行できるわけではなく、ある時間は止まってくださいねという規制をすることになります。ということは、地元の方がその規制を受けていいですよというまとまった意思が必要になります。ある1人の方が言っているのではなく、町内会や地区の方が「わかった、それはみんな思っていることや」というのが必要になるので、町内会でまとまった要望があると動きやすくなるということをお願いいただいたらと思います。でも声を挙げないと、「そういうご希望がないんですね」となってしまいますので、こうやって皆さんがまちづくりに関心を持って、遠慮なく身近な自治体である市に言っていただいたらと思います。

【男性】 大原簿記公務員専門学校の学生です。私は19年間、松山市に住んでいて、学生になってから電車に乗ってどこかに行くことが多いです。そこで、JRと伊予鉄道の連結や、例えばICカード、定期の統一などを市長のお力でどうにかできないかと思っているのですが、ご意見をお聞か

してください。

【市長】 全国では市で電車・鉄道を持っているところがあります。大阪市や熊本市のように市で電鉄を持っていると話が早いと思いますが、松山の場合は伊予鉄道さんとＪＲ四国さんになります。交通のことについては都市・交通計画課長お願いします。

【都市・交通計画課長】 松山市のほとんどの公共交通は伊予鉄道さん１社になります。ＪＲさんは予讃線と路線バス１路線を持ち、市は三津と鹿島の渡船を持っています。ほぼ皆さんの足の確保は伊予鉄道さんになっていて、いろいろな協力体制を敷いて事業をしています。ＩＣカードについては、伊予鉄道さんが全国でも早く平成１７年あたりから導入を始めました。ＪＲ四国さんに聞きますと、「四国では坂出のほうにはありますが、松山には入れる予定はありません」という返事がありました。おそらく乗降客が少なく採算が合わないということなので、無理強いができないところもあり、そのような意見を聞いています。今後、ＪＲ四国さんがＩＣカードをもし導入するとすると、相互利用のＩＣカードの話が出てくるかと思いますが、現時点ではＩＣカードについてはなかなか厳しい状況です。時間についても、まずＪＲ四国さんは収益が一番上がる特急のダイヤを基本に考え、特急の間に普通のローカル線を入れます。そうすると、特急のダイヤをゆがめてまでは伊予鉄道さんのダイヤに合わせられないというのがＪＲさんの意見です。伊予鉄道さんは郊外電車だと２０分間隔、路面電車だと１０分間隔ですから、都会とも遜色ないぐらいあると思います。時刻を合わせられるところは合わせてくださいという協議はずっとしていますが、今後もできる限り協力してやっていきたいと思っています。

【市長】 私から補足をします。結論は、できるだけ公共交通を利用してあげてくださいということになります。松山は地方都市にしては公共交通が比較的充実しているまちです。全国には１，７００を超える市町村がありますが、全国１７都市しか路面電車が残っていないんです。松山市は、お城を取り囲むように路面電車が残っていて、郊外電車は伊予鉄道の郡中線、高浜線、横河原線の３路線も残っています。昔は森松線といって今は国道３３号線ですが、砥部の動物園に行くほうに電車が走っていました。１路線廃線になりましたが、まだ３路線も残っています。ＪＲが走っていて、バスの路線は結構あります。バス停に行ったら、「どこ行きのバスが何分後にやってきます」というバスロケーションシステムという案内がありますが、あれは伊予鉄道さんが全国でも早く導入しました。公共交通を利用しないと、もうやめるかという話になってくるので、今、郊外のバスもできるだけなくさないように、松山市と伊予鉄道さんと地域の住民の方

の3者で協議をして、「こういうふうにバスのダイヤを変えてくれたら利用しやすいんだが」「じゃあ、そうしましょうか」みたいな話合いをして、できるだけ公共交通を生かそうというまちづくりをしていますので、できれば学生さんも乗っていただけたらと思います。

【女性】 大原簿記公務員専門学校の学生です。交通についての質問です。堀之内にある駐車場は台数が少なく、土日になったら渋滞してしまうのですが、そのあたりの対策はされているのですか。

【市長】 堀之内の駐車場を思い浮かべていただけたらと思いますが、松山市民会館の西側は、イベントのときには臨時的に駐車場にできるようになっています。どうしてそうなっているかというと、堀之内は史跡で歴史的なものが埋まっているので、基本的にはそれを復活させるか、土や芝生で覆って守るかのどちらかです。ですから、勝手には建てられないこととなります。松山市営駐車場としては、市役所の地下駐車場と二番町通りに面したところに二番町駐車場がありますが、特に二番町駐車場は土日の料金を安くしていますので、できるだけ利用してほしいと思っています。また、県庁の西側にも愛媛県の駐車場があります。堀之内の中にはつくることはできないので、できるだけ市役所の駐車場を利用させていただきたいということで、ソフト面も工夫しているところです。

【都市・交通計画課長】 質問の確認ですが、今、市長が言われた県庁の西側の駐車場のことを想定されて質問されていますか。それとも、市民会館の中のことも両方ですか。

【女性】 外側のほうです。

【都市・交通計画課長】 最後に市長が言われた県庁の西側の駐車場は県の所管になります。駐車場空き待ちの渋滞が多いということで、県に言って入口にガードマンを配置してもらいました。ガードマンが「満車です」という案内するときに、次に駐車場が空くまで時間がかかりそうなときは、車をそこに止めないでくださいという指導をしてもらうように2、3週間前に県に要請をしました。

【女性】 大原簿記公務員専門学校の学生です。震災についての質問ですが、南海トラフの大地震が懸念されている中で、先日熊本の大震災がありました。松山市の避難場所、食料、水分の確保について具体的にどのような対策を取られているのか教えていただきたいと思っています。

【消防局次長】 南海地震の備えは、松山市でもさまざまな対策をとっています。まず避難所となる小中学校は、耐震化を前倒しで行っています。

消防団のポンプ蔵置所など地域の拠点となる施設も前倒しで耐震化を進めています。なお、小中学校の体育館は100パーセント耐震化が完了していますので、そちらの避難所は地震が起こっても今のところ安全ということになっています。松山市には5カ所の拠点備蓄倉庫があり、そちらに約7万5千食の非常用食料を備蓄しています。食料とは別に飲料水もペットボトルで約2万本、そのほか毛布や生活必需品、日用品セットなどさまざまな日用品なども備蓄しています。それとは別に、松山市では市内の三越さん、高島屋さん、フジさん、イオンさんなどと物資の供給に8社と災害時の協定を結んでいて、地震が起こった際はそれぞれのスーパー、デパートから避難所に物資を提供していただける仕組みもつくっています。南海地震の備えは松山市としても着々と進めています。ぜひ皆さんももう一度防災マップを見ていただき、防災マップに地震の備えを掲載していますので、熊本地震を契機にそれぞれ地震への備えをしていただけたらと思います。今回の熊本地震はいきなり猛烈な揺れがきて、震度7の揺れが2回もきたということで、かなりの被害が出ています。地震で揺れ始めたら、机の下に隠れていただくという基本的な行動をとっていただいて、皆さんの命を守っていただけたらと思います。

【男性】 河原簿記公務員専門学校の学生です。松山市の姉妹都市があると思いますが、フライブルクとサクラメントの特産品や郷土料理を使ったラーメン博のような姉妹都市博を開催してみるのはいかがでしょうか。

【市長】 いいご提案だと思います。

【地域経済課長】 地域経済課長です。国際交流ということですが、松山市では「えひめ・まつやま産業まつり」を11月下旬に開催しています。その中で、友好交流都市である台湾やサクラメント、フライブルク、平澤市のグルメや観光情報などのコーナーを出展して交流しています。

【市長】 実は、もうやっているところです。台湾の首都台北市は、人口が松山の5倍で250万都市です。松山市は台湾の台北市と協定を結べていて、姉妹都市のようになっていますが、それはなぜかという、台湾の台北に松山という地名があります。松山空港、松山小学校、松山駅もありますし、そんな縁で交流を進めて協定を結べています。「えひめ・まつやま産業まつり」は11月21・22日だったと思いますが、特に去年はアメリカのサクラメント、ドイツのフライブルク、台北市と韓国の友好都市平澤市にブースを出していただいて、まさに交流をやっているところです。これからも、そのようなことをやっていきたいと思っています。堀之内は、

愛媛マラソンのスタートフィニッシュ会場としても使われています。お城の下の大きなスペースですからそれができます。「えひめ・まつやま産業まつり」も2日間で12万人のお客様が来られました。この間は肉フェスがありましたが、堀之内はいろいろなイベントで使えるところです。実は私もスポーツが好きなので、あそこにサッカーのスタジアムができたらいいのになんて思うんです。サッカーのゲームが終わった後に、銀天街や大街道に出てきてもらって、今日は勝ったなあと食事をしてくれたりすると地域経済効果もあっていいだろうと思うのですが、堀之内は市民や各団体の方に参加していただいて計画を立て、史跡の整備を前提として有利な国の補助金なども利用しながら、史跡の景観にも配慮した緑地広場を整備してきました。私が、今、スタジアムなんかいいですよねと言いましたが、国の補助金を受けて整備した場所なので、これをスポーツ施設などの目的以外の用途に転用する場合、一般的には目的が違うので、補助金を返還しないといけなくなるんです。堀之内の場合、約29億円の補助金を返還しなければいけません。文化財保護法という法律に基づいて、史跡指定の解除は通常あり得ないことなので補助金の返還制度などないということが現状で、あそこにサッカースタジアムを建てるとするのは難しいことなんです。30億円近いお金を返還してからスタジアムを建設するというのは非常に大変なことです。今、史跡整備の中で、愛媛マラソンに使うのか「えひめ・まつやま産業まつり」に使うのがよい形なのかなと思います。私も、サッカーのスタジアムなどができたらいいなと思いますが、そのような経緯があることをご理解いただければと思います。

【男性】 資格の大原愛媛校の学生です。私は県外に住んでいたのですが、そのときに「愛媛松山イコールみかんでしょ」と友達から言われて、「いやいや、松山にはもっと色んな産業があって、情熱を持って働かれている方がいるよ」ということを県外の人に説明しましたが、やはり松山の魅力を県外の方にもっとPRすることが大切だと思います。紙の媒体では、なかなか市民の方に松山市がやっていることが伝わらないと思うので、伝えるという意味では動画の力は絶大なものがあると思います。最近はYouTubeなどのビデオオンデマンドが、若者に人気になっていますけれども、そのような活用はしていますでしょうか。

【市長】 できるだけわかりやすくシティプロモーションということを話します。広島県さんは、猿岩石の有吉さんを使って「おいしい！広島県」とプロモーションをしました。香川県さんは、香川県出身の要潤さんを使って「うどん県。それだけじゃない香川県」をシティプロモーションしまし

た。高知県さんは広末涼子さんを使って「高知家」をプロモーションしましたが、そのような中で松山市が例えば松山のタレントさんを使ってやったら二番煎じになります。それから、予算的にはタレントさんを使ってやるとちょっと高いです。二番煎じになるから、松山市はアニメーションを使うことにしました。アニメーションは日本で50年続いている文化ですし、アニメーションを使うと1桁安い金額でできるんですよ。タレントさんは肖像権があるので、どうしても高いし、いざ変更となるとなかなか変更しづらいですが、アニメーションでやると変更はききやすいです。「マツとヤンマとモブリさん」を流してみまじょうか。「マツとヤンマ」は松山を分解したものです。「モブリさん」の「もぶる」というのは松山弁の方言です。ユーチューブで見られますが、「マツとヤンマとモブリさん」のパート1とパート2は大体9分ぐらいで、松山の魅力がぎゅっと詰まったVTRになっていますので、見ていただいたらと思います。パート1は、友近さんや水樹奈々さんなどに出ていただいて、観光映像大賞の全国ナンバー2をいただきました。「3丁目の夕日」や「海猿」を手掛けた東京のロボットという制作会社につくってもらいましたので非常にいいです。ちょっと見まじょうか。(VTR視聴) 続けて見たいところですがけれども、また、ご家庭で見ていただいたらと思います。もう1つ今回つくったのは、移住定住に向けての「Moving☆5」という移住定住のロードムービーですが、これも松山の魅力がいっぱい詰まったVTRで、タレントのフォーリンラブのバービーさんや、あえて5人県外の人に出ていただいたVTRで松山の魅力を発信していくものです。これもいいです。また見ていただいたらと思います。ご存知ない方もいらっしゃるかもしれませんが、私の前の仕事は南海放送という放送局で20年アナウンサーをしていましたので、どちらかというと、動画は関心の強いほうですから、色んな事例を見ながらやっています。

【男性】 河原医療福祉専門学校の学生です。現在、少子化が進んでいる中で、最近、ニュース等で児童虐待の事件が相次いで放送されていますが、サービスの行き届いていない児童虐待のケースにどのような働きかけやサービスが必要だと考えますか。

【保健福祉部副部長】 松山市では「松山市子ども総合相談」窓口を設置して、子どもに関するさまざまな相談について総合的な支援を迅速かつ的確に行うために、窓口を一本化しています。児童虐待の防止のためには、関係機関と密接に連携した取り組みと子どもやその親だけでなく、地域全体で見守ることが重要であると考えています。そこで、松山市子ども総合

相談や虐待の具体的内容、児童相談所などの24時間対応の連絡先などを記載したリーフレットを市民サービスセンターや公民館などの窓口を設置したり、家庭訪問時や民生児童委員さんを通じて、広く市民の方に周知を図っています。また、子どもに直接関わりのある関係機関、また子どもを見守るためのネットワークである「要保護児童対策地域協議会」を設置して、地域の見守りを担う民生児童委員協議会や、特に子どもとの関わりが強い幼稚園、保育所、小中学校などの関係機関と連携し、児童虐待の早期発見、早期対応、未然防止に努めているところです。より多くの市民の皆さんに児童虐待防止について理解を深めてもらい、その家庭や地域全体で見守り支え合う地域づくりが大切と考えていますので、皆さんにもご協力をいただく中で、より一層の児童虐待防止に取り組んでいきたいと考えています。

【市長】 考え方としては、ばらばらになると対応が遅くなるので、ワンストップで連携をとってやっています。行政だけでやると、できることに限りがあるので、皆さんもお近くで「子どもの泣き声がずっとするな。ひよっとしたら虐待かもしれない」ということがあるかもしれませんが、気になったら、インターネットで「松山市 子ども 虐待」と打ったら連絡先もすぐ出てきますし、24時間体制で受けられるようにしていますので、遠慮なく連絡していただけたらと思います。それぞれの経験を持った職員が詰めていますので、間違えていてもいいですから、ぜひとも皆さんにつながっていただけたらと思います。若いお父さんお母さんが抱えるようにして、周りをつながらないで子育てをするとしんどいです。介護にしても、ご夫婦がつながらないで抱えるように介護をしたらしんどいです。つながりがなくて、例えば、マンションで隣が何をやる人ぞみたいになると防犯面も不安が出てきます。子育て、介護、防犯ではつながるといいことがたくさん出てきますので、できるだけみんな考えていければいいと思います。

【男性】 河原医療福祉専門学校の学生です。これは、私の意見というより保育士をしている母の意見ですが、今、0歳時の受入数が極端に少ないそうですけれども、松山市で低年齢の乳児や幼児への対策は取られていますか。

【保健福祉部副部長】 保育所問題は日本全国の問題になっています。松山市では、待機児童ゼロを目指して、施設整備や保育園の定員の増加、新たな保育園を社会福祉法人の方につくっていただくとか、小規模保育施設で3歳時未満の方を預かっていただくよう定員を増やすことに毎年努力

をしています。ただ、前年の待機児童分を施設整備しても、新たな需要が年々増えているというのも事実で、いつまでに解消できるかは非常に難しい問題ですが、できる限りの努力をしています。

【市長】 経緯を言うと、私は平成22年11月に就任させていただいて待機児童ゼロを目指すということで、平成26年4月1日におかげさまで待機児童ゼロになりました。でも、国の定義が変わり、今までは数に含めていなかった求職活動中の人も定義の中に含めるようになったので、平成27年4月1日現在は95人になりました。この待機児童ゼロ、入所待ち児童ゼロを目指すということを公約に掲げていますので、できる限り色々な工夫をしながらやっていきたいなと思っています。

【男性】 河原医療福祉専門学校の学生です。私たちは、愛媛マラソンや柔道錬成大会といったところに医療スタッフとしてお手伝いに行かせていただいています。愛媛国体の中で私たち学生でもできることが少しでもあると思いますが、それにご協力させていただくことは可能か教えていただきたいと思っています。

【市民部長】 所管は国体競技課ですが、私からお答えさせていただきます。愛媛国体は、全国から大勢の方々が集まり、ボランティアの力がなければなかなか開催できませんので、愛媛県・松山市ともにボランティア募集をしています。松山市では運営ボランティアを2千人募集していて、主な活動は各競技会場での受付や会場案内、休憩所でのドリンクの振る舞い、あるいは選手への弁当の配布などです。活動は来年の開催日のみではなく、今年リハーサル大会が開催されますので、そちらにもご協力をいただきたいと思っています。ご希望をされる方の申し込みは松山市に国体の実行委員会がありますので、そちらに連絡をいただきましたら詳細は説明させていただきますし、ある程度のことはこの後に時間がありましたらお話は伺えますので、こちらに寄っていただければと思います。

【市長】 私から国体について補足をします。来年愛媛で64年ぶりに国体が来るということは、この次はその期間ぐらい来ないということですよ。もしかすると皆さんの人生の中で愛媛で国体を経験するのは最後になるかもしれません。今、ボランティアを募集しています。松山市は愛媛県の中でも大きいので、14競技を松山市で開催します。毎年、年に1回国体がありますが、1つの市で14競技を実施するのは国体の歴史上最も多い数なので、できるだけ皆さん関わっていただいて、ボランティアもやっていただけたらと思います。あと1つ、今、河原学園さんが立派だな、どんどん意見を言ってもらってありがたいなと思っていますが、意見を伝え

るためには選挙に行くことも大切な手段です。明確にグラフがありまして、お年が上になればなるほど選挙に行かれ、若い方は行かないんですよ。「若い人の策を考えてもどうせ投票に行ってくれんのかな」となったら、選挙に行ってくれる人のことだけを考えて政策を打つかもできませんね。となるとますます皆さんは政治に関心がなくなるかもしれません。自分たちの意見をしっかりと反映していく、その機会は選挙ですからしっかりと投票には行っていただきたいと思います。誰に投票をしてくださいという話ではないんです。選挙には行ってほしいという話なんです。大事な皆さんの思いを届ける機会、私の1票なんて関係ないと思われるかもしれませんが、1票1票の積み重ねですから選挙には必ず行っていただくのが大事だと思います。松山市は全国でもかなり先駆的に選挙コンシェルジュという取り組みをしています。誰に投票をしてくださいというのではなくて、選挙にはしっかりと行っていただいて自分の意見や自分の思いを反映していただきたいと思います。

【男性】 河原医療大学校の学生です。先の東北大震災では石巻赤十字病院がリーダーシップをとって医療に関わっていました。熊本での地震では、たぶんどこかの赤十字とかがリーダーシップを発揮したんだと思いますが、松山で南海トラフ地震が起こった際に、どこがリーダーシップを発揮して医療という面に関わっていくのか教えてください。

【消防局次長】 松山市の場合は基幹病院として愛媛県立中央病院があります。救急病院の輪番制では色んな病院が当番になっていますが、愛媛県立中央病院は2.5次扱いという、通常の救急病院の収容が困難な状態になったときに、患者さんを診察するようになっていきます。また、県立中央病院にはDMAT(ディーマット)という災害時の医療チームもあります。このほか、消防局では救急ワークステーションを県立中央病院直近に整備し、県立中央病院の医師が救急ワークステーションの救急車に乗って現場に出動する連携体制をとっています。松山市で災害が起こった場合は県立中央病院が拠点となり、松山赤十字病院などの病院が連携をしながら医療体制をとっていくということになるかと思っています。

【市長】 今、松山市はおかげさまで、みんなでやろうということである協力体制がとれているのはありがたいと思います。できるだけわかりやすく話しますが、東には愛媛大学病院が東温市にあり、梅本に四国がんセンターという大きな病院があります。中央には松山市駅のそばに県立中央病院があります。北には赤十字病院があります。松山駅近くには松山市民病院という民間の大きい病院があります。海側には済生会病院があり、

松山市には東西南北に中心部も含めてバランスよく大きな病院が配置されています。皆さん国道56号の松前町へ行く道を思い浮かべていただいたらと思いますが、テレビ愛媛さんの斜め前ぐらいで藤原町のケーズデンキさんの南側に松山市医師会館という新しい会館ができています。次長、医師会館のことをご説明いただけますか。

【保健福祉部保健所次長】 医師会館は平成26年に新しく建て替え、3階建ての免震構造になっています。熊本のような地震でも耐えるということで、松山市は医師会館を第1番目に開設する救護所として指定しています。大きな病院のような対応はできませんが、まずそこで1次的な処置をする救護所として活動できる体制をとっていただく協力をお願いしています。

【市長】 松山市医師会の会長さんは実際に東北の震災のときに行かれていた方で、みんなの命を守ろうと活動をされていますので、その辺は頑張っていて一生懸命動いてくださると思います。日赤さんも新しい建物になろうとしていますけれども、松山市も大事な病院として捉えています。

【男性】 河原デザイン・アート専門学校の学生です。三津の朝市についてお聞きします。三津浜に集客力をつけてからの計画だと思いますけれども、今の三津の朝市の活性化計画の現状を教えてくださいたいのと、検討予定であれば昔の市場の丸屋根を建物のどこかに取り入れたり、朝市を示すマークなどを入れてみてはどうでしょうか。三津の朝市は昔からの長い歴史があってこそその朝市だと思います。

【市長】 私の1期目の公約で、三津の瀬戸内の魚を活用して松山をもっと活性化したいとしていて、それについて動いています。できるだけわかりやすく話しますが、多額の税金を投入して施設をつくることになると、ニーズに合わないものをつくって、できたけどお客さんが来ないというのが一番いけませんので、平成25年に事業化可能性調査というのを委託して色んな面から調査をしました。調査の結果、大きなものを今つくってしまうのではなく、空き家などを活用した小規模な分散型の施設を整備し、そのようなものを広めていって三津の賑わいをつくり、長期的には集客能力や住民のニーズが高まって、事業の採算性などが整った段階で改めて大規模な施設の整備について考えることにしました。まずは小規模から積み上げていこうということで、今、三津の魅力にはまってもらおうという「三津ハマル」という拠点施設をつくって、空き店舗と借りたい人のマッチングをしています。今、三津には若い人や外の人が入ってくれるようになってきています。3年間で三津の商店街の空き店舗や古い蔵を利用し

たワインバーや飲食店や洋服屋さんなど9件のお店が新しく出店をしました。だいぶ賑わいが戻ってきているところです。熊本には上乃裏通りという古い通りがあり、古い建物に魅力あるお店の出店を促しているところがあります。そういう先進事例もありますので、いきなり大きな施設をつくってお客さんが来ないというよりも、まずはそういう三津らしい魅力を出していったお客さんを集めてから、魅力が高まった段階で次へ進むということを考えています。できるだけ横文字を使いたくはありませんが、最初のコストをインシャルコスト、管理するコストをランニングコストといいますが、行政が物をつくると1年や2年でやめたと言えません。建てた以上は20年、30年はしっかり面倒をみていかないとはいけません。インシャルコストがまず大きくかかって、ランニングコスト管理費がかかりますから、子どもや孫の世代が維持管理費をみていくことになります。「先輩世代がえらい物をつくってしもたから、私らその管理が大変じゃ」ということは、我々世代が避けなくてははいけないと思います。だからニーズを見極めてから物事をやっていかなくてははいけないと思っています。

【男性】 河原パティシエ・医療・観光専門学校ブライダルホテル科の学生です。本日いただいた資料の中に「徹底した市民目線による行政 第2幕 賑わいで幸せ」という項目が掲げられていますが、こういうイベントごとがあれば愛媛県に観光客や他の都道府県のお客様は来られるかもしれません。イベントごとがない限り商店街や大街道、銀天街はガラガラだと思うんです。今私たちが松山に住んでいますが、そういうイベントがないので、松山や愛媛県はつまらないところという意見を私の他県の友達や親族から聞きます。お金お金と言っていたら松山は廃れていってしまい、さらに松山に残る私たちの子どもはいなくなり、どんどん少子高齢化が進んでいくと思います。さらに松山の中でイベントを増やしていくことはできないのでしょうか。

【市長】 ちょっと深い話をしましょうね。じゃあ、イベントは誰がしたらいいと思いますか。市役所、民間、誰がしましょうか。

【男性】 私が政治を深く知らないので大きなことは言えませんが、愛媛県知事や市長、民間の方が意見等を持ち合わせる中で、大きなものができる私は考えています。私自身がこれをやろうと言っても絶対に通るものはないし、色んな人が集まってイベントができると思いますので、誰がするというのはなく、愛媛県自体や民間の方々がすすんでやることによってイベントはできると思いますので、愛媛県全体がイベントをしたらよいと私は考えています。

【市長】 ちょっとお考えを聞きたいんですけど、イベントは例えば土日にする短期のイベントのことなのか、どういうものを想像していますか。

【男性】 今回、国体があると思うんですが、愛媛県民でやる大会をさらに色んな県にPRしていくことで「愛媛県おもしろいな」となると思います。例えば、「愛媛県民でお城山で鬼ごっこしましょう」ということにしたら、地域活性にもつながると思うので、そういうことをやればいいかなと思います。

【市長】 わかりました。臆せず言ってもらうことはすごくいいことだと思います。例えば、イベントというならば、愛媛県というお話が出たので、愛媛県のしまなみサイクリングもひとつイベントだと思います。海外からのお客様も来られています。自転車が通れなかったしまなみ海道を開放してサイクリング大会をするようになったのも愛媛県が主体にありました。先ほど申し上げた11月下旬の「えひめ・まつやま産業まつり」も以前やっていたなかったイベントで、2日間で12万人のお客様が来るようになりました。今、道後温泉で道後アートというイベントをやっていますが、あれは1年かけたイベントです。短期のイベントもあれば長期のイベントもあります。道後アートでお客様は増えていて、松山市内のホテル・旅館の宿泊者数はここ10年でおかげさまで今最高です。道後は、ここ15年で最高のお客様を記録しています。費用対効果を見ながら色んなイベントを展開しているところです。行政としてやることと、民間の若い皆さんが企画してできることもあります。若い人からアイデアを出してきてほしいと思い、まちづくり提案制度というものを始めました。今年4月から5月16日まで募集中ですが、初年度なのでお金は少なくということで、大学生世代は15万円です。「マネーの虎」みたいなものといいましたが、こういうのをやりたいんですと言ってもらって、みんなで審査して、いいものにはお金出そうというものです。ぜひとも皆さんの突飛な発想、楽しい発想、若い人の発想でイベントを企画してもらえればなと思います。私たちは、考えて動いてくれる方々を大いにサポートしたいと思っていますので、行政としてもいろいろ費用対効果を考えながらやっていきますけれども、皆さんからもアイデアをいただけたらなと思っています。

【男性】 河原デザインアート専門学校で建築を勉強しています。パンフレットの16ページにJR松山駅周辺整備のパスがありますが、JRの辺りの整備はどのぐらい進んでいるのか教えてください。

【都市・交通計画課長】 現在は、平成32年度を目標に掲げて工事をしている段階です。ただ、不安定要素として、例えばこの前の熊本の地震や

東北での震災、オリンピックなど基盤整備にお金がかかるものがあります。国のお金をある程度もらって整備をしていくので、大きな災害が起こると優先度が落ちてきますけれども、今の目標は32年度までで頑張っているのが現状です。

【男性】 進捗状況はどうか。

【都市・交通計画課長】 専門的な用語にはなりますが、連続立体交差事業といって、鉄道を上げて道路と立体交差にすることで渋滞を解消することをします。鉄道高架の事業は愛媛県の事業で、愛媛県は順次工事を発注しています。もう1つは、駅周辺の土地の開発をする土地区画整理事業で、全体を一度更地にして道路や下水道をつくる宅地部分の移転補償などを今進めています。それから、駅の構内奥に車両基地がありますが、車両基地が松前町に移転するようになっていっていますので、その整備も今やっています。将来的に車両基地から列車が松山駅に入ってきて出発することになります。JR駅前周辺に行っていたら、更地になっていて家がなくて土地だけになっているところが結構あります。

【女性】 河原アイペットワールド専門学校の学生です。今、動物病院はVET'S えひめというグループが24時間営業、夜間診療を行っています。その認知度が低いと思います。ホームページとか見ないとその日の担当の動物病院がわからなかったりするので、新聞などに掲載するなど認知度を高めるための活動などを行っているのかどうかお聞きしたいです。

【保健福祉部次長】 今、夜間診療をしている動物病院は、有志の方が協力できる病院を募ってグループをつくり、ネットで公開して受け入れをしていると聞いています。それを松山市で救急病院のように公開することは、民間の特定の動物病院の案内になるので、市としてはできないのが今の現状ですけれども、そういうところを皆さんに知っていただくことは必要かなと思いますので、動物愛護担当とも相談していきたいと思います。

【市長】 昔と比べてペットの存在がだいぶ変わってきましたね。家族の一員だというように意識が変わってきたと思います。松山市の広報紙は全戸配布で、すべてのご家庭にお配りしています。皆さんが見ているわけではないと思いますが、ペットも家族の一員だという意識が広がってきているので、広報紙のどこかに書くとか少し考えてみたいと思います。行政でできることと、また民間の方々でできること、両建てであると思いますので、動物病院さんでも頑張ってもらい、松山市もご紹介できたらいいなと思っています。

【女性】 河原パティシエ・医療・観光専門学校ブライダル・ホテル課の学生です。道後温泉はもうすぐ改装ですが、道後温泉は松山にとって一番ぐらゐの観光地だと思いますが、その改装中のときに観光客がもっと来られるように対策など取られているのでしょうか。

【市長】 市長として2つの難しい面があります。道後温泉本館は、松山市が持っている建物で国の重要文化財です。大きな地震が起こって壊れてしまつてはいけなゐのでその面が1つと、工事に入つてしまつると経済的な影響もできるだけ小さくしたいという、この両面があります。築121年の建物で、今のところは震度6ないし震度7の大きな地震が起こつてもかろうじて倒壊はまぬがれる程度の診断ですが、耐震化工事で補修しなゐてはいけません。そこで、建つて約30年の椿の湯を改修します。西側の土地を買わせていただきました。大きくなり、敷地は今の道後温泉本館の2倍ほどの敷地になります。建物は道後温泉本館と同程度のもゐになりますので、かなりゆつたりとしたつくりになります。飛鳥時代のイメージになります。なぜかというゝ道後温泉は西暦596年に聖徳太子さんが道後に来られて大変感激したという碑文が今の道後温泉椿の湯のところに建つています。596年というゝのは飛鳥時代です。万葉集や日本書紀にも登場する日本最古のお風呂ですけれど、飛鳥時代の湯屋のイメージでつくりまゐす。飛鳥時代の建物で代表的なものは奈良の法隆寺さんですが、法隆寺さんは聖徳太子さんにゆかりがあります。ここでまたつながるゐるゐるゐる。明治時代の建物の道後温泉本館と対比で楽しんでいただこうというゝことゝで、いろいろとアドバイスいただゐているのは東京大学名誉教授で副学長まゐでされました内藤廣さんというゝ方で、建築界のトップランナーのひとりです。この内藤さんが松山のまちづくりにいろいろと関わつてくださつてゐます。高知県の牧野富太郎記念館や三重県の海の博物館で大変立派な賞も取つていらつしやる方です。男性50名、女性50名、合ゐせて100名入れる大浴場を設けまゐすし、露天風呂も設けまゐす。道後温泉本館には又新殿という皇室専用のお風呂がありますが、一般の方は入ることができまゐせんので、それをこちらで再現したいと思つてゐます。昔の飛鳥時代は裸で入つてゐたのではなく湯帳という衣を着て入つてゐたという話がありますが、これを現代の技術で衣を再現して、お風呂に入つても体に引つつかないとか、空気が入つてぼこぼこにならない湯帳を開発して、体にメスを入れてちよつとお風呂に入るのがつらくなつたなゐという方ゝ肌を見せたくない外国人の方が入浴を楽しめるようにしようとしてゐます。椿の湯の整備を本館工事に入るまゐで間に合ゐせるというゝ予定にしてゐて、道後温泉の工事もできるだけ短くしたいと思つてゐます。また、姫路城がそう

であったように、見せる工事を検討しています。料理、パティシエに関わっている方はオープンキッチンをご存知だと思いますが、オープンキッチンならぬオープン工事現場、工事期間中だから見せられるものを考えながらやっっていこうと思っています。特に、市長としては経済の落ち込みをできるだけ避けたいので、いろいろ工夫してやっっていこうと思っています。

【男性】 大原簿記専門学校の学生です。大街道をまっすぐ行ったところに横断歩道があり、その交差点に直進のみの標識がありますが、道路自体には左折可のマークがあります。それはどうなっているんですか。

【都市・交通計画課長】 交通標識の整備は警察が所管ということで、調べさせてもらいました。千舟町通りを永木方面から来たときに、河原町方面に道路車線は左折があるが、信号機には直進が書いていることですね。信号機の横についている直進は歴史があり、昔の大街道は車が走れて歩行者天国ではなかったんです。全体が歩行者天国になったときに、車の方が永木方面から来て大街道に車が入ってはいけないということで、あの直進は大街道に車は入らないでくださいという標識らしいんです。警察としては、まだ高齢者ドライバーは昔の記憶でいるといけないので、今のままにさせてくださいということでした。昔、大街道に車が入って行かないようにとつけたものが今も継続しているということになっています。

【市長】 私も小さいときの記憶ですけれども、昔の大街道は、小川が流れていたようで、バスが走っていた話もありますが、昔は大街道の中を車が通れたんです。今日は多数手を挙げていただき、ずっと意見が出たままでしたが、残念ながら所定の時間の6時半がきました。自分の高校時代のことを思い返してみても、授業時間より長いといけないと思いますので、この辺で終わりにしようと思います。今日発言できなかった方は「わがまちメール」という直接のメールの制度を設けていますので、遠慮なくメールでいただけたらと思います。きちんと回答させていただきたいと思います。今日は、皆さんからたくさん手を挙げていただいてありがたかったです。特に学生さんが頑張って一生懸命私からの質問にもめげずに答えてくれたのが、若者らしくていいなあと思いました。1つイベントを思い出しましたが、今年秋には堀之内公園で「ゆるキャラグランプリ」があります。また「全国こなもんサミット」は、もともと三津の方が「愛媛ご当地こなもんサミット」をしていて、2年目は「中四国ご当地こなもんサミット」、今年「全国ご当地こなもんサミット」とあがってきたものです。これは民間の方々が始めたものですが、民間でもできることはいっぱいありますので、それをしっかりと我々はサポートしていきたいと思います。

本当に皆さんの若い発想、外から来られた方の発想、突飛な発想を大事に
していきたいと思いますので、遠慮なく言っていただいたらと思います。
お疲れになった方もいらっしゃると思いますが、本日は本当にありがとう
ございました。

— 了 —